

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和 6年 1月 19日

事業所名: いよっこリーナえがお

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえません	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえません	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6	1		子どもの特性や状況に応じて備品等を移動させるなどして、十分なスペースを確保したり、特性に応じて個別の支援が必要な場合には個室にて対応しています。	26				4 ・環境は整っていると思いますが、中に入ることがないためわかりません。	・指定基準を満たし、子どもの特性に配慮してスペースを確保しています。
	2 職員の適切な配置	5	2			18			12 ・環境は整っていると思いますが、中に入ることがないためわかりません。	・人員配置基準以上の職員数(保育士・児童指導員)を配置し、基準以上の人員は加配職員として対応しています。 ・子どもの数や子どもの特性や状況に応じて職員を配置しています。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4	3			22			8 ・環境は整っていると思いますが、中に入ることがないためわかりません。	・構造上難しい部分を除いてバリアフリー化しています。 ・子どもの特性に応じて適時環境を整えて、サービスを提供しています。 送迎に関しても、必要に応じて添乗を付けています。 また、送迎の乗り降りの見落としを防ぐために該当車には安全装置(置き去り防止ブザー)を取り付けています。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	3			23			7 ・環境は整っていると思いますが、中に入ることがないためわかりません。	・居室空間の清掃や消毒は毎日行っています。また送迎車も使用後消毒しています。 ・換気も随時行っております。 ・建物の構造上、部屋数も多いためなるべく全体が把握出来るように、職員を配置しています。	
業	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	4	3		・出勤日数の少ないパート職員とも、情報共有がスムーズに行えるように連絡ノート等を活用していきます。						・日々の検証等は出勤日数の少ないパート職員とも、情報共有がスムーズに行えるように連絡ノート等を活用しています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
務改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	3	2	2						
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	1	1						・法人全体や事業所内での研修会、外部研修(対面、Zoom等)、発達研修等を行っています。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	1		・アセスメント、モニタリングに関しては保護者への聞き取り(対面や電話等)をしっかりと行い作成しています。	30				・PDCAサイクルで、計画立案しています。また子どもの状況等変化等があれば、随時変更しています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7			ガイドラインにある5領域に関しては、特に意識して療育支援にあたっています。	30				・子どもやご家族のニーズ、特性を考慮しながら、なるべく分かりやすく支援内容等を記載しています。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5	2							・子どもの特性やご家族のニーズ等に合わせて、個別活動や集団活動をおりませず、支援計画を作成しています。
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	5	2			27		3		・放課後等デイサービス計画に沿った支援を提供しています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	4	3		・パート職員等の意見も柔軟に取り入れながら、活動プログラムを工夫しています。					・職員全体で活動内容を話し合い、状況に合わせてより良い活動プログラムを立案しています。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6	1		・活動プログラムも月々で担当者を設け活動内容にメリハリがつくように行事計画を作成しています。 ・同じ活動プログラムでも、内容に変化を持たせて工夫しています。 園外での活動を積極的に行うこと(公園、博物館見学等)、固定化しないような機会を作っています。	28		2	・子どもの好みや気分に合わせて、様々な活動を準備してもらっていると思います。	・感染防止対策を徹底しながら様々な活動を実施してきました。今後もその時々状況に応じて、工夫しながらプログラムを立案していきます。 ・子どもの特性、状況、人数に合わせて活動内容の見直しを行い、子どもがより安全、より楽しく過ごせるように立案していきます。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	4							・休日や長期休暇には平日とは異なる活動を臨機応変に取り入れてメリハリのある活動に取り組んでいます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	3	4		・出勤時刻が違うパート職員が出勤した時点で改めてその日の支援内容や職員配置、役割等を再確認し、情報共有を図っています。					・朝礼等で情報共有を行いながら、その日の支援内容や職員配置、役割等を再確認しています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	3		・出勤時刻が違うパート職員等には口頭での引継ぎや連絡ノート等を効果的に活用して、情報共有を図っています。					・サービス終了後に課題等の振り返り等を行い情報共有しています。また、その場にはいない職員等には連絡ノート等で情報の共有化を図っています。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5	2							・子どもの様子等に関しては、日々の連絡帳、支援記録に記入しています。また、それを踏まえた上で次の支援に活かせるようにしていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	1							定期的なモニタリングで評価を行い、適時計画の見直しを行っています。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	3							・児童発達管理責任者、担当者等が適時参加しています。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	2	5							
関係機関と	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	1	6							
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	2	5							・相談支援専門員との連携のもと、各学校とも連携を行っています。特別支援学校の支援会議等に参加して情報共有を図っています。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	3		・移行支援先である生活介護や就労移行支援B型事業所との情報共有等を図っています。					・相談支援専門員との連携のもと、各学校や関係機関等と連携を行っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
①の連携（続き）	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	2							・伊予市障害児サービス事業所定例会や特別支援連携協議会に参加しています。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4		3		2	1	10	17	コロナのことがあるので、難しいと思います。	感染状況が落ち着いている際には近隣の児童館に赴き、障がいがない子供との交流促進を図りました。また、公園等に外出した際には障がいがない子ども等と一緒に遊具等で遊び交流を深めました。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	4	2							・新型コロナウイルス等の関係で事業所内への地域住民等の招待は出来なかったですが、地域の子供会のお神輿や亥の子踊りの活動場所として事業所の駐車場等を提供しました。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	3			29			1		・契約時に支援内容や利用負担金等について丁寧な説明を心がけています。また、個別に問い合わせ等があった際にもその都度対応させていただきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	1			28			2	自宅にて計画書を確認させていただきました。	・コロナウイルスの関係で十分な説明が出来ませんでした。送迎時や電話等で出来るだけ丁寧な説明を心掛けました。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	1	5	1		11	4	6	9		・コロナウイルス等の関係で、実施には至っていません。今後も研修等に参加して、状況をみながら、実施できるように計画していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6	1		・連絡帳では足りない部分に関しては、送迎の際やその日の電話連絡等で詳しく説明して共通理解を図っています。	26	2		2	送迎時の短時間ではありますが、いつも濃密な話が出ています。 ・必要な情報交換は出来ていると思います。	・毎回、連絡帳で日々の様子を伝えています。加えて、送迎時にもご家族にその日にあった出来事等を詳しく話すように心がけています。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	2			17	3	4	6		・ご家族から相談があった際には、適時対応させて頂いています。また、内容により事業所内だけでなく、各関係機関とも連携して対応し、助言等を行っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	6	2	3	2	・育成会等の活動に関して、保護者に啓発したり、配布物等あれば、出来る範囲で協力している。	10	5	8	7	保護者会などが開催されていないので、分からない	・保護者会は現在はありませんが、状況に応じてご家族参加の行事や交流等も考えていきたいと思えます。
	7	6	1			22			8	・今のところ苦情がないのでわかりませんが、対応して頂けると助かります。	・苦情受付相談窓口を設置して、窓口担当者及び解決責任者を配置しています。 ・第三者委員も設けており、事業所内で解決しない場合は第三者委員会で対応することになっています。 ・苦情については迅速かつ適切、丁寧な対応に心がけています。 ・訴えることが難しい子どもには、いつもと違う様子が見られた時には、こちらから声掛けしたり、ご家族に相談しています。
	8	7			障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	29			1	・送迎時、連絡帳等でいつもお話しさせてもらっています。	・言葉でのコミュニケーションだけでなく、ジェスチャーや絵カード等のツール等使用して、その方の特性に応じた意思疎通や情報伝達方法を工夫しています。 ・ご家族とは、連絡帳や電話、送迎時の会話等を通じて情報共有を行っています。
	9	6	1		・季節ごとに写真がメインの園だよりを発行している。活動の様子を定期的に写真で保護者に報告している。	22		2	6	・毎月行事予定が届くのを楽しみにしている。 ・お便りや活動の様子、写真ありがとうございます。 ・その日の活動中の写真のプリントは嬉しいです。	・行事予定については、各月初めに郵送にて各ご家庭に送付させて頂いています。 ・定期的な広報等で活動内容等を発信しています。 ・各活動等で撮った写真を日々保護者にお渡ししたり、アルバム等にしてお渡しています。
10	7			・職員間でも個人情報の取り扱いには十分に注意して行います。	25			5		・個人情報の取り扱いには十分注意し、所定の場所にて適切に保管しています。 ・契約時には個人情報の取り扱いについて、細かく聞き取り、確認を行い同意書を頂いた上で対応しています。 ・また、職員間でも個人情報に関するやり取りには細心の注意を払っています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標				
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	1		19	4		7	防犯までは記憶していません	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルは職員が確認、閲覧しやすいように事務所の所定の場所に置いています。また、事業所研修会を通じてマニュアルの確認等を行っています。 警報下での事業所での対応やコロナウイルス等の感染対策等は更新の際には、随時ご家族に提示しています。 		
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7				16	2		12		<ul style="list-style-type: none"> 年2回(火災・地震等想定)の防火・防災の災害避難訓練を実施しています。 	
非常時等の対応(続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7									<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会及び法人全体研修、事業所内研修で虐待防止に関する研修を行っています。また、外部研修にも参加し、職員間で情報共有を図っています。 	
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	6	1								<ul style="list-style-type: none"> 現在、該当される子どもはいませんが、今後発生する場合には、法人内の身体拘束適性化委員会で検証し、子ども、その保護者にしっかり丁寧に説明を行い、同意の上サインを頂き適切に対応したいと思います。 	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	1									<ul style="list-style-type: none"> 契約時のアセスメントの際に食物アレルギーの確認を行っています。 ご家族を通して医師からの指示に基づき対応しています。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	6	1									<ul style="list-style-type: none"> 職員の小さな気づきからヒヤリハット報告を提出し作成しています。 職員間で必ず話し合いを行い、共有を図っています。